

**2周年記念イベント開催
ドローイング展「ハロウズ」**

10月10日、新明地区にあるドリーム愛ランドビレッジにてハロドメイド体験イベントが開催され、保護者を含め43人が参加しました。

このイベントは施設のオープン2周年を記念するもので、町出身のアロマセラピストなどが講師となったほか、函館市周辺の飲食店も出店したことから、子どもたちは賑やかに楽しんでいました。

施設の三木代表は「いずれは町民の方にも体験イベントの講師になってほしい」と今後の展望を話していました。



**長寿を祝して
各町内会・敬老の行事**

9月下旬から各町内会で敬老を祝した行事が行われました。

例年では敬老会が開催されますが、新型コロナウイルス感染症対策のため一昨年より引き続き中止となり、今年は代わりに商品券や紅白餅の配布や、小規模の祝いの集いを開くなどしました。

湯ノ岱地区では10月16日、卒寿を迎える三浦安芳さん、半田喜美子さん、高堰千恵子さんへ祝い状と記念品の贈呈が行われました。

半田さんは長生きの秘訣について「いろいろな催しに参加すること」と話していました。

**新しい自分を手に入れる
上ノ国中・学校祭**

10月16日、上ノ国中学校で学校祭が行われ、生徒たちは日ごろの学習の成果を発表しました。

学校祭のテーマに「REBORN」自分革命、新しい自分を手に入れる」と掲げ、生徒たちはテーマにふさわしいダンスや演奏、演劇などを披露し、観客からは演目中に拍手が沸き、幕が下りると盛大な拍手が贈られました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観客者数の制限があったものの、生徒たちは成長した姿をそれぞれに表現していました。



**山盛りとれました
各小学校・収穫祭**

10月13日、河北小学校の3、4年生が片石唯乃農業士（字中須田）の所有する畑でキヌサヤエンドウの収穫体験をしました。

子どもたちは畑のすみずみまで収穫し、片石さんから1人300枚ほど収穫できたことを聞くと、驚いていました。

また14日に河北小学校で、20日に上ノ国小学校で学校菜園の収穫が行われ、子どもたちは大きいサツマイモを掘り当て、友達同士で自慢していました。

収穫した野菜は、学校で調理し給食と一緒に食べたほか、それぞれの家庭に持ち帰りました。

